

**編集 後記**

第82回日本公衆衛生学会総会が10月31日～11月2日に開催され、多くの教育・研究者や実践家の参加と発表があり、多くの刺激を受けたことと存じます。参加された皆様が、今回の学会参加や発表を契機に、日頃の研究や活動内容をまとめ本誌へ投稿されることを心より期待しております。

さて、今月号では原著4本、資料2本の多彩かつ示唆に富んだ論文を掲載しております。まず、新型コロナウイルス感染症関連の論文として、京都府山城北保健所の発生届に基づき第6波における小児の疫学調査をまとめた論文、そして大阪市における出生数と乳幼児健康診査受診率などの母子保健事業の利用推移を観察した論文が掲載されています。この2本の論文は、いずれも筆頭著者が保健所所属であり、得られた知見は将来の感染症危機管理対策等を考えていく中で有用な資料となると考えています。公衆衛生活動に携わる実践家の皆さまにおかれましては、日々の業務でお忙しいとは思いますが、論文にまとめることでご自身の活動の振り返りになりますので、本誌への投稿をお待ちしています。その他に、自治体保健師のための地区活動に関する尺度開発と男性労働者の休養を評価する尺度開発という尺度開発に関する論文が2本掲載されています。また、精神障害者が認識する権利擁護支援が必要な状況と対処方法に関する論文が掲載されています。この論文では、精神障害者は、精神科医療だけでなく、地域の多様な場面や相手に対して権利擁護支援が必要だと認識している実態が質的記述的研究で明らかにされています。

最後に、今月号には、編集委員会から投稿規程の改定に関するお知らせも掲載されておりますのでご一読下さい。投稿を検討されておられる皆様は、必ず新しい投稿規程をご確認の上投稿いただくようよろしくお願い致します。  
(月野木ルミ)

## 次号予告 (第70巻・第12号)

## 総説

日本人における自己申告による身体計測値の正確性：スコーピングレビュー……………青山友子，他

## 資料

Australian Curriculumにおける保健に関するニューメラシー教育の概要……………三好知美，他  
地域包括支援センター看護職の高齢者と家族への支援過程での倫理的ジレンマと倫理的行動の特徴……………齊藤恵美子，他  
COVID-19感染症蔓延下における滋賀県保健師人材育成担当者の新任者現任教育における困難と工夫……………原田小夜，他